

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年4月1日

事業所名 こもれび通所支援事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	法令に従って訓練スペースを確保しています。プログラム内容で環境設定を行っています。	他の事業と使い分けを明確にしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	6	1	0	法令に従って職員の人員配置を行っています。集団療育の他、必要に応じて個別対応できるように配置しています。	スタッフを増員して対応していきたいです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	0	6	滑り止め設置、目印等でわかりやすくしています。	職員配置、目印追加等で環境調整していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	0	職員間で情報を共有しています。会議等で目標設定の見直しや、よりよい支援を考えています。	日報又は会議録にて全スタッフ共有していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	個別支援計画書に盛り込んだり、業務改善につなげています。	保護者等向け評価表(アンケート)を継続し、対応してまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	2	平成30年度にホームページを開設し、保護者等向け評価表(アンケート)、および事業所の自己評価表等を公開しています。	情報は更新し、ホームページの充実や会報等も発行していきたいです。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	0	6	相談員や教員に評価等を伺っています。	外部評価検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	1	外部研修は、積極的に参加しています。	サービスを提供するため、知識・技術・接遇の研鑽向上を怠らないためにも外部研修、内部研修もこれ以上確保してまいります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	年度替わりや環境の変化、お子様の成長・発達に応じたアセスメントを行い、本人や保護者様のニーズを把握し、支援計画を作成しています。	アセスメントを適切に行い、支援計画を作成してまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	1	標準化されたツールを参考に事業所で作成したアセスメントツールを使用しています。	本人や保護者様の多様なニーズを総合的に把握するため、アセスメントツールを変更、見直し検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	1	スタッフ以外に、関係者とも共通理解したうえでのプログラム立案をおこなっています。	保護者はもちろん事、学校関係者とも共通目的のもと、プログラムの立案していきたいです。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	毎月、保護者、本人、スタッフの要望聞いて対応しています。	本人に合わせた支援を優先して考えていますが、苦手な療育内容なども細分化して対応していきたいです。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	0	休日・休暇は特別プログラムを組み、休日しかできない課題(時間をかけて取り組む制作や社会資源の活用、公共機関を利用した外出等)に取り組んでいる。	現状どおり対応してまいります。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	0	曜日固定の集団プログラムが主なため、そこに特性や発達状況を考えて組み合わせています。	きちんと明確化されていないため整備していきたいです。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	0	前日までに欠の90%把握しているため前回療育の引継ぎと併せ実施しています。	当日開始前に状況が変化することがあるため、そこまで見直し立てて対応していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	0	翌日に前日のミーティング等で振り返り、次の支援内容に生かすようにしています。	時間差出勤職員にも細かいところまで共有できるよう伝達簿（仮名）等作成検討中。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	毎日記録つけて対応しています。	記録内容が曖昧な内容にならないようルール化した整備を改善中です。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	毎回参加しています。	見直しや継続性の必要性などスタッフとも細かく情報交換しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	1	0	基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動、創作活動、余暇支援を組み合わせ、個人特性に合わせたプログラムを提供している。	今後もガイドラインの総則に沿って対応していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	現状どおり対応していきます。
関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	0	送迎時の先生との引継ぎ時、保護者や学校との電話連絡、保育所等訪問支援を活用するなどして学校との情報共有を行っています。	現状どおり対応していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	2	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のあるお子様の利用はありません。	今後連携体制整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	0	主に保護者からの聞き取りや書面での情報共有が多いが、事前に保育所、幼稚園等に出向いて情報共有に努めている。	現状どおり対応していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	2	障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者は、今のところ該当なしです。	今後連携体制整えていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	3	保護者様を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	現状どおり対応していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	7	公園遊びや散歩等で交流させている。長期休暇等では、児童館内施設で交流している。	地域と繋がり今後とも努めていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	1	6	構成メンバーでないため参加していません。	今後連携体制整えていきたい。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	保護者のお迎え時や送迎時、連絡帳、電話などで状況や課題についてお伝えしている。	現状どおり対応していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	1	家族支援は、行っているが事業所にて正式なペアレント・トレーニングは、行っていません。	ペアレント・トレーニングのスキルを持ち、今後、事業所内で実施できるようにしていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2	0	契約時に規定を明確に提示し、利用者負担等についても丁寧な説明を行っています。	現状どおり対応していきます。
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	相談にはその都度対応しています。必要に応じて日時を改め時間を設け、助言と支援を行っています。	保護者様の悩み等を改善できるようスキルアップ目指します。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	7	父母の会の活動はありません。	小人数制で保護者同士の連携をはかれるよう整備中です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	いつでも相談して頂ける関係・環境を作るようにしています。苦情があった場合はマニュアルに沿って苦情窓口にて迅速に対応したいと思います。	相談や申入れがあった場合は、迅速かつ、適切に対応するようにします。苦情窓口を設けており、苦情が発生した場合には、その窓口にて連絡するように重要事項説明書にて説明している等対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	1	行事予定は紙面に対応し、活動内容はホームページやブログ等で発信しています。	ブログ更新、ホームページの整備。保護者様に有益な情報の会報や連絡体制等を整備していきます。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	職員一同十分に気を付けることができるよう徹底しています。	事務所内の掲示物等整備していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	個々の状況に応じて、よりわかりやすく親切な対応を考え工夫しています。	現状どおり対応していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	4	地域住民の招待活動はありませんが、社協の方々に見学来ていただいたり、近所住民の見学に協力しています。	地域住民に開かれた事業所を考えていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	0	対応マニュアルを策定し、職員に周知している。	周知だけでなく、発生を想定した訓練や研修を行っています。事業所内にマニュアルを設置し、保護者様にはいつでもお読み頂けるようにしていきます。定期的に訓練を行い、最新の情報を提供していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	年に1回、訓練を実施しています。想定災害に応じた避難訓練を実施しています。	定期的に訓練を行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	外部研修を積極的に参加し、その内容を全スタッフに共有しています。	虐待マニュアルの具体的な整備をしていきます。

非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	2	該当者なしです。	情報収集し、今後に備えて整備していきたいです。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	2	指示書等に基づく該当児童はいないが、契約時にアレルギーの有無その日の体調等は、利用時に毎回確認するようにしています。	全スタッフに内部研修や外部研修などを行い対応できるようスキルアップをはかります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	0	ミーティング等で事例確認し、該当事例の場合は記録している。	共有、忘れ防止策を実施していきます。